

審査基準

審査の項目	配点	審査の視点	審査の視点の具体例
(1)業務理解度	20	業務の内容と事業目的を正しく理解できているか	・本業務の内容について、十分に理解し、事業目的に沿った考えが記載されているか
(2)観光統計分析ツール	50	仕様に掲げる業務内容を達成できる内容となっているか	・分析ツールに求める要件を満たしているか ・周遊促進につながる分析ができるツールであるか ・広域観光組織等及び県の意思決定資料へ有効に活用できるものとなっているか ・分析ツールを有効活用するために、県及び広域観光組織等へ充実したサポートを実施できるノウハウを有した人材が確保されているか
(3)実証事業の実施	50	仕様に掲げる業務内容を達成できる実施方法となっているか	・各広域観光組織等の地域の現状と課題を把握した内容となっているか ・地域コーディネーターからの具体的なアドバイスが期待でき、効果検証が可能な方法で行われる体制が確保されているか
(4)ワークショップの開催	30	仕様に掲げる業務内容を達成できる実施方法となっているか	・意見交換や情報共有の場として、広域観光組織のノウハウ蓄積やスキルアップにつながる内容とするための具体的な提案がされているか
(5)スケジュール	20	事業目的を達成する適切なスケジュールか	・事業の目的を達成するための具体的なスケジュールが提案されているか
(6)実施体制、仕様書に定める業務に関連する実績	20	事業目的を達成する適切な実施体制が整っているか	・事業の目的を達成するために必要なノウハウや体制が確保されているか ・地域コーディネーター及びマーケティングアドバイザーは業務内容を遂行できるノウハウや実績を有した人材が確保されているか ・本業務の実施にあたり、自社、他社を問わず必要な人材やネットワークが確保されているか ・過去に国や他の自治体において、観光事業者等の人材育成や観光地域づくり等、本事業と類似業務の実績があるか
(7)経費見積	10	見積は適正か	・予算の範囲内であり、積算内訳及び根拠が明確に示されているか ・仕様に掲げた業務経費が全て計上されているか ・提案された業務規模と経費見積もりが大きくかけ離れていないか ・過剰な経費見積もりとなっていないか